

みんなでつくる シーグラスアート

～一色港における待ち時間の活用～



一色港について

愛知県西尾市に位置し、師崎漁港、豊浜漁港と並び愛知県の三大漁港のひとつである。佐久島行きの定期船が出ており、佐久島西港まで約 9.4km、約 20 分で行くことができる。周辺には「一色さかな広場」や「佐久島ナビステーション」などが並び連日賑わっている。

佐久島について

佐久島は、愛知県下にある篠島、日間賀島の三島の中で最大の島である。人口は 196 人、そのうち 65 歳以上が 108 人を占めている（2020 年 4 月 1 日）。平成 8 年からアートによる島おこしが行われた。現在佐久島内に 22 作品、佐久島ナビステーションに 2 作品、合計 24 作品が点在し、佐久島は「アートの島」と呼ばれている。

背景

一色港では待ち時間が多く発生している。観光客が多い時期は、希望渡船時刻の船が定員に達してしまうと 1 時間以上後の便に乗らなければならない。一色港までのアクセスは車、バスが占めているが、西尾駅からバスで来た場合、平均で約 30 分の待ち時間が発生してしまう。

目的

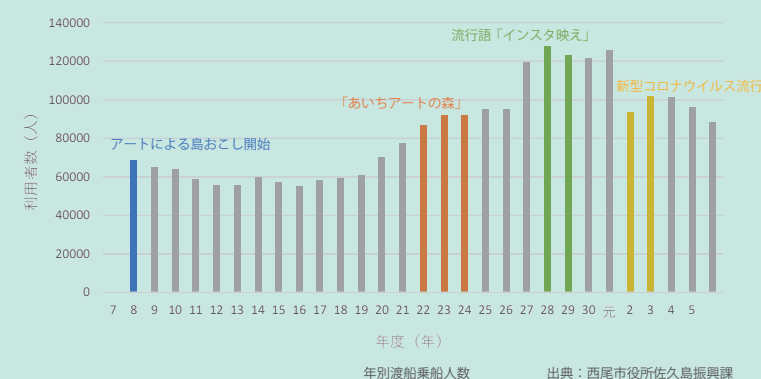
一色港での待ち時間を退屈なものにしないこと、佐久島へ期待度・理解度を深め、通過点も思い出の一部にしてみようことを目的とする。

西尾駅	一色おきかな広場 佐久島行渡船場		一色港	佐久島 東港	佐久島 西港
発	着		発	発	
—	—	待ち時間	6:30	7:00	7:07
—	—		7:40	8:30	8:37
8:40	9:07	23分	9:30	10:10	10:17
10:15	10:42	48分	11:30	12:30	12:37
12:45	13:12	28分	13:40	14:50	14:57
14:45	15:12	38分	15:50	17:15	17:22
17:15	17:42	8分	17:50	18:20	18:27

佐久島行き渡船時刻表

ヒアリング

平成 8 年度からアートによる島おこしを開始された。平成 22 年あいちトリエンナーレに伴い、佐久島では、「あいちアートの森」が行われたこと、平成 29 年の「ユーキャン新語・流行語大賞」にて「インスタ映え」の年間大賞に伴い、若者へのアートの認知度が高まり、観光客の増加からアートの需要が高まったと考える。



行動観察

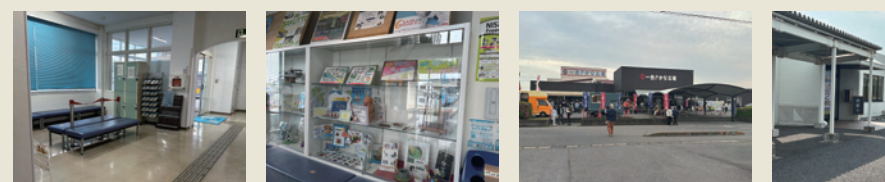
日にち：5月2日（金） 日にち：5月31日（土）
 時間：7:40～9:30 時間：13:00～13:40
 利用者数：9人 利用者数：30人
 待ち時間：平均 17分 待ち時間：平均 21分
 最長 36分、最短 6分 最長 40分以上、最短 9分

日にち：5月31日（土）
 時間：9:45～11:30
 利用者数：113人
 待ち時間：平均 57分
 最長 110分以上、最短 2分

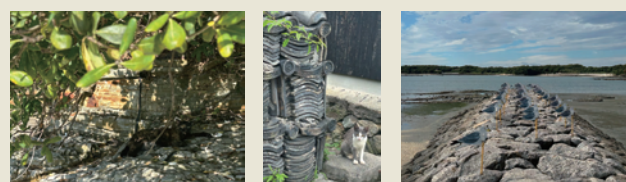


スマートフォンを見て過ごす人が多く、過半数を占めていた。全 3 回の待ち時間の平均は 32 分、1 時間以上待っている人もいれば、出発時刻間際に来ている人もおり、待ち時間は人によって大きく変わることが分かった。

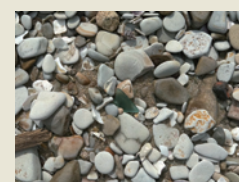
佐久島が「アートの島」であること、アートの需要に着目し、素材にこだわった企画を検討した。そのため、海岸が多くある佐久島で拾ったシーグラスを使用し、**スタンドグラスアート**の制作を提案した。行動観察から、待ち時間は人によって大きく変わることから、1 人当たりの作成量を指定せず、**つくり繋げていく**ことで、自分の好きなタイミング、渡船時間までの短い時間でも気軽に参加できるようにした。



4 月 一色港・周辺観察調査



6 月 佐久島内観察調査



10 月 シーグラス収集



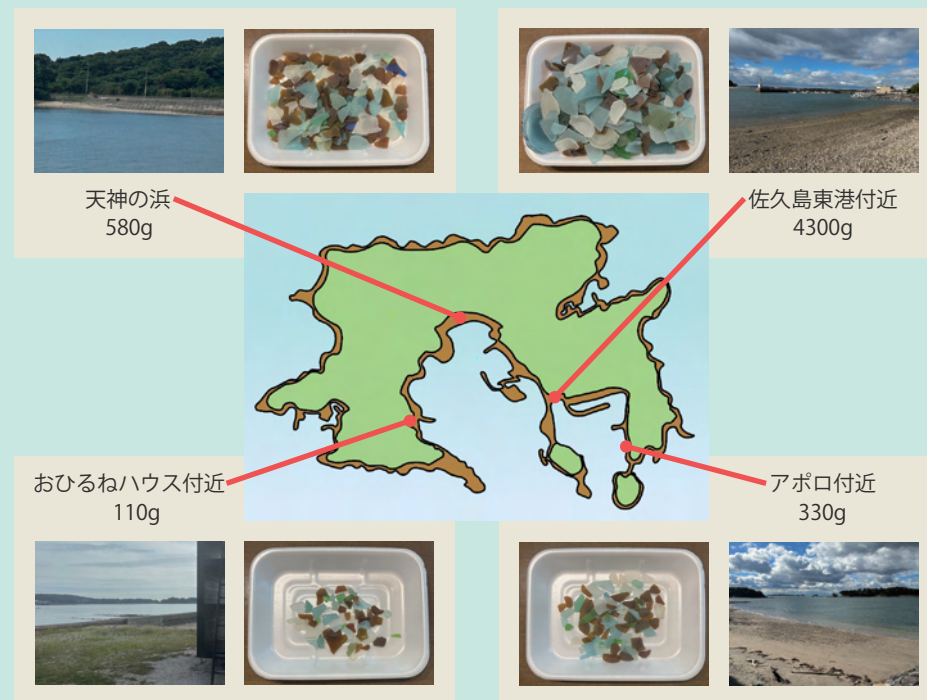
11 月、12 月 ワークショップ

タイムスケジュール



シーグラス収集

A3のステンドグラスを3枚作る想定で、佐久島に4回渡航し、シーグラスを収集した。また、西尾市役所佐久島振興課の職員の方にシーグラスの提供かつ、佐久島のシーグラス収集場所の情報をご教示して頂いた。最終的に約7500g採取出来た。佐久島内でも場所により拾える量、色、形、大きさ、透明度が多種多様であった。



ステンドグラス制作

収集したシーグラスを洗浄・殺菌・乾燥し、色ごとに分類する。収集したシーグラスは、曇りがあるものが多くあったため、UVレジンを塗ることで、ステンドグラスの、光を通した時の美しさを表現した。また透明度の高いシーグラスを見て、その煌びやかさに興味を示し、参加を促すことを期待した。一方、ありのままのシーグラスの美しさも知ってもらいたいため、手を加えないものも混在させた。



試作を行い、シーグラスを貼ってから縁を描くのか、縁を描いてからシーグラスを貼るのかを検討し、より美しく見える縁を描いてからシーグラスを貼ることを採用した。

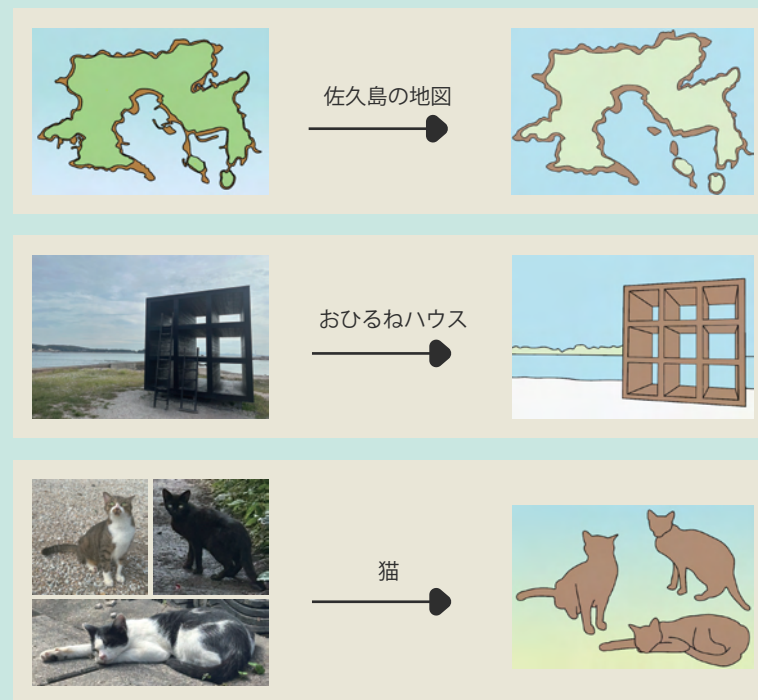


木枠制作

シーグラスの角が取れた形の美しさを簡略化したデザインを選定し、レーザーカッターで加工をする。

デザイン案

収集から、シーグラスは茶色・水色・緑色・透明色が多く占めていることが分かった。そのため前述の色で、できるデザイン案を検討した。佐久島の地図、アートの1つである「おひるねハウス」、佐久島は「アートの島」の他に「猫島」とも呼ばれていることから、自ら佐久島にて撮影した猫を簡略化したものを採用した。



第1回ワークショップ

日にち : 11月27日(木)
時間 : 9:00~16:00
スタッフ: 学生2名
参加人数: 2人



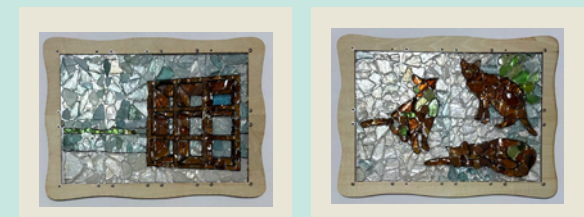
話しかけてくれる方も5人あり、次のワークショップに参加したいと言っていたき、本企画を知ってもらう機会となった。

第2回ワークショップ

日にち : 12月6日(土)
時間 : 9:00~11:30
スタッフ: 学生4名、教員1名、職員1名
参加人数: 13人



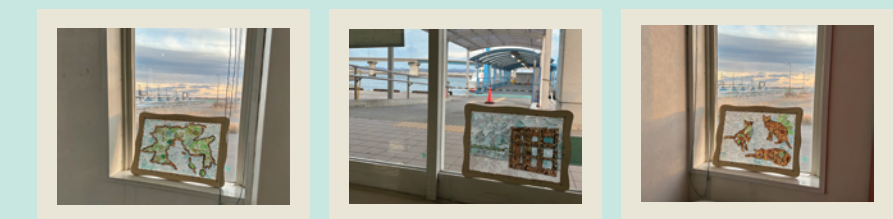
参加時間: 平均23分
最長60分
年代 : 平均30代
参加割合: 観光客70%



企画終了時にアンケートを行い、「楽しかった、思ったより難しくてワクワクした」、「みんな個性が出ていてかわかった」など待ち時間に企画に参加をして前向きな意見が多くみられ、約8割がとても楽しく待ち時間が過ぎたと回答、参加した全員が完成したステンドグラスアートを見に来たいと回答した。

展示

完成したステンドグラスを一色港に置かせて頂いた。



まとめ

アンケート結果、また企画時に記念撮影をしている方も見受けられ、待ち時間を楽しいものに、佐久島までの通過点も思い出にしていってもらうことができたと思う。私は企画を行うにあたり初めて佐久島を訪れ、島の人の温かみや自然の良さを感じた。本企画を通してより魅力を知ってもらい、初めて、再び訪れるきっかけとなり、さらなる佐久島の発展に繋がってくれたら嬉しい。